

平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 福

上場会社名 サイタホールディングス株式会社  
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 才田 善之  
 (氏名) 平山 繁之

TEL 0946-22-3875

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	866	2.0	△31	—	△33	—	△29	—
28年6月期第1四半期	849	2.8	△168	—	△176	—	△124	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 △10百万円 (—%) 28年6月期第1四半期 △124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△4.70	—
28年6月期第1四半期	△19.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
29年6月期第1四半期	5,130		1,912		37.3	303.32
28年6月期	4,850		1,923		39.7	305.00

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 1,912百万円 28年6月期 1,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	17.9	80	—	100	—	60	—	9.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	6,610,000 株	28年6月期	6,610,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	304,730 株	28年6月期	304,730 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	6,305,270 株	28年6月期1Q	6,305,270 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 四半期建設事業受注の概況 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国及び欧州経済が景気回復基調にあるものの、中国経済の緩やかな減速、英国のEU離脱等により、全体として先行きの不透明感が強まっております。

建設業界におきましては、公共投資の減少懸念、建設資材の価格上昇や労務費の増加等、経営環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は8億6千6百万円（前年同四半期比2.0%増）となり、営業損失3千1百万円（前年同四半期は営業損失1億6千8百万円）、経常損失3千3百万円（前年同四半期は経常損失1億7千6百万円）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2千9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億2千4百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節の変動があります。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は5億4千6百万円（前年同四半期比26.9%増）、完成工事高は3億4千2百万円（前年同四半期比14.3%増）、営業利益は0百万円（前年同四半期は営業損失1億2千1百万円）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は3億5千万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は1千4百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は4千8百万円（前年同四半期比34.0%減）、営業損失は1千万円（前年同四半期は営業損失1千1百万円）となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億2千6百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は25億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千7百万円増加いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が2億1百万円減少いたしました。現金預金が4億2百万円増加したことによるものであります。固定資産は26億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千3百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2千6百万円、投資その他の資産が1千7百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、51億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は26億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千6百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が9千3百万円、未払費用が2千7百万円減少いたしました。未成工事受入金が2億8千3百万円、その他が7千4百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千4百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、32億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は19億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失2千9百万円、その他包括利益1千8百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.3%（前連結会計年度末は39.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期決算発表時（平成28年8月19日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報  
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	1,168,715	1,571,420
受取手形・完成工事未収入金等	855,965	654,455
未成工事支出金等	190,977	201,671
繰延税金資産	53,512	63,393
その他	25,791	41,319
貸倒引当金	△2,971	△2,671
<b>流動資産合計</b>	<b>2,291,990</b>	<b>2,529,588</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	354,419	348,562
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	576,202	612,411
土地	755,770	755,770
リース資産(純額)	34,062	30,790
その他(純額)	45,824	44,986
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,766,280</b>	<b>1,792,521</b>
<b>無形固定資産</b>		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
<b>無形固定資産合計</b>	<b>15,329</b>	<b>15,329</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	238,061	253,058
保険積立金	173,555	175,272
繰延税金資産	37,290	30,787
その他	389,849	395,742
貸倒引当金	△62,331	△61,330
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>776,425</b>	<b>793,529</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,558,036</b>	<b>2,601,380</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,850,026</b>	<b>5,130,969</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	492,137	398,527
短期借入金	1,650,309	1,660,663
リース債務	15,578	13,437
未払費用	79,005	51,025
未払法人税等	8,505	1,821
未成工事受入金	—	283,686
工事損失引当金	6,300	10,200
賞与引当金	4,985	19,940
その他	130,199	204,700
流動負債合計	2,387,020	2,644,003
固定負債		
長期借入金	338,966	375,273
リース債務	24,173	21,981
退職給付に係る負債	141,216	141,733
役員退職慰労引当金	30,102	30,532
その他	5,413	4,963
固定負債合計	539,871	574,482
負債合計	2,926,892	3,218,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	716,574	594,558
利益剰余金	341,043	433,430
自己株式	△35,728	△35,728
株主資本合計	1,964,839	1,935,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△29,030	△15,989
為替換算調整勘定	△12,675	△6,737
その他の包括利益累計額合計	△41,706	△22,726
純資産合計	1,923,133	1,912,483
負債純資産合計	4,850,026	5,130,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	299,258	342,069
兼業事業売上高	550,266	524,385
売上高合計	849,525	866,455
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	406,005	321,556
兼業事業売上原価	448,452	401,275
売上原価合計	854,457	722,832
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	△106,746	20,512
兼業事業総利益	101,813	123,109
売上総利益合計	△4,932	143,622
<b>販売費及び一般管理費</b>	163,382	175,391
営業損失(△)	△168,315	△31,769
<b>営業外収益</b>		
受取利息	126	122
受取配当金	9	47
固定資産賃貸料	1,189	999
持分法による投資利益	7,535	7,786
貸倒引当金戻入額	22	1,500
その他	888	2,849
営業外収益合計	9,772	13,306
<b>営業外費用</b>		
支払利息	6,405	5,528
為替差損	9,937	6,667
その他	1,758	2,511
営業外費用合計	18,101	14,708
経常損失(△)	△176,644	△33,171



(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	132	997
特別利益合計	132	997
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	—	103
特別損失合計	0	103
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,511	△32,278
法人税、住民税及び事業税	282	743
法人税等調整額	△52,133	△3,392
法人税等合計	△51,850	△2,648
四半期純損失(△)	△124,661	△29,629
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△124,661	△29,629

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△124,661	△29,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,528	13,041
為替換算調整勘定	10,929	5,937
その他の包括利益合計	400	18,979
四半期包括利益	△124,261	△10,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,261	△10,650
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年9月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち122,015千円を減少し、資本剰余金は594,558千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	299,258	352,322	72,742	724,323	125,202	849,525	—	849,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,800	2,443	205	12,448	3,733	16,182	△16,182	—
計	309,058	354,765	72,948	736,772	128,935	865,707	△16,182	849,525
セグメント利益又は損失 (△)	△121,845	△2,332	△11,354	△135,533	6,425	△129,107	△39,207	△168,315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額39,207千円には、セグメント間取引消去16,182千円、各報告セグメントに配分していない全社費用23,024千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	342,069	350,299	48,007	740,376	126,079	866,455	—	866,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,200	1,984	303	5,487	4,938	10,425	△10,425	—
計	345,269	352,283	48,310	745,863	131,017	876,880	△10,425	866,455
セグメント利益又は損失 (△)	682	14,977	△10,950	4,709	△608	4,101	△35,870	△31,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額35,870千円には、セグメント間取引消去10,425千円、各報告セグメントに配分していない全社費用25,444千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受 注 高	
	千円	%
平成29年6月期第1四半期累計期間	463,944	10.0
平成28年6月期第1四半期累計期間	421,628	113.5

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。  
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成29年6月期 第1四半期累計期間		平成28年6月期 第1四半期累計期間		比較増減 千円	増減率 %
			千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官公庁	352,488	76.0	336,877	79.9	15,611	4.6
		民 間	111,456	24.0	82,163	19.5	29,292	35.7
		計	463,944	100.0	419,040	99.4	44,904	10.7
	建 設	官公庁	—	—	2,502	0.6	△2,502	—
		民 間	—	—	86	0.0	△86	—
		計	—	—	2,588	0.6	△2,588	—
	合 計	官公庁	352,488	76.0	339,379	80.5	13,109	3.9
		民 間	111,456	24.0	82,249	19.5	29,206	35.5
		計	463,944	100.0	421,628	100.0	42,316	10.0

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。